南アルプス市 平成 24 年度

事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

I T.	נויאכערנו	十八	24	+皮 (兼)予算編成	找資料・実施			戊日 H	年	月		日作	
	古双古光力	_		障害者福祉。	所属部局	保健福祉部		_	単位番号 課長名 担当者名		小林 正吾			
事務事業名					▼ 実施計画事業		所属課室 所属担当	福祉課 障害者自立支援担当						
	44 1 -1 44	Ä	V			2 天旭可凹爭未		会計	名称	□ <u>1.</u> 款		目	細目	細々目
	基本政策	基 本	<u> </u>	快適で心のかよい	ハあう都市づくり		予算科目	01	一般	03		02	020	06
	政 策	計 画	7	社会福祉の充実			****	□ 国の制度による義 □ 県の制度による義			義務的事業 🔲 施		設等維持管理事業	
	施策						事果区分	事業区分					ŧ	
	事業期間						法令根拠							
務事	障害者の社会参加 (補助対象団体のヨ	相間限な を促し、 とな事業	定複数年 、福祉増 能)	F度事業は次年度と 身進及び自立推進の 外研修、イチゴ狩りる	ため助成する。	容も記載	事業費の主 項目(細) 団体補助金	な内訳 節)	(24年度 金額(千円 60)	算見込) 項目(細: 計	節)	金額	(千円) 600
1	現状把握(Do 事務事業の目的	O) と指揮	5							•				
	活動					⑤ 活	動指標	(事務事業の	活動量	量を表す指:	標)数	対字は記入	しない	
	年度活動実績	補助金	の交付						<mark>(事務事業の</mark> 名称					
		は出る	の交付		→ ア 補	助金の	交付			<u></u>	回			
25	年度活動予定	無 別金	沙炎的				1 							
2	対象(この事務事	業は	推、何を	対象にしているの	のか) * 人や自然	、資源等		象指標	<mark>(対象の大きる</mark> 名称	きを表	す指標)数	字は	記入しなし	١,
									名称		λ····χ···Ε···ν/··		単位	
南ア	ルプス市障害者福	祉会の	会員			→ ア 南	アルブ	ス市障害者	温祉 :	会会員数	ļ	人		
						1 					······			
3 ;	意図(この事務事業	業により	対象を	どのような状態にし	ていくのか、どのよ	うに変えるのか)		果指標	(対象における	意図σ	達成度を表	ず指	標)数字は	記入しな
									<mark>(対象における</mark> 名称					
会員	の社会参加の促進	重及び福	a 祉増進	Ė			→ ア 障 (害者福祉	止会の開催行	事、参	加行事数	<u></u>	回	
							<u> 1</u> ウ					·····		
4.	上位目的(どのよ	うな結	果に約	昔び付けるのか)				立成果	指標(結果の	達成	度を表す指	標) 数	数字は記え	入しない
									名称				単位	
障害	F者福祉の充実を図	[[る					→ / i ^両	足及调	査(地域福祉	止計區	<u> </u>	<u></u>	%	
厚吉	F者福祉の充実を図 	[]る			0.475		→	足及前		止計恒		<u>;</u>		
	学者福祉の充実を図 		単位	23年度	24年度	25年度	26年度		27年度		28年度		最終	年度
(2)	事業費・指標の打	進移		23年度 (決算·実績)	24年度 (決算見込·実績)	25年度 (予算·目標)	→							
(2)	事業費・指標の対	推移 出金	千円千円				26年度		27年度		28年度		最終	
(2) 年 間	事業費・指標の対 財国庫支比 事 の現実出	生移 出金 金	千円 千円 千円				26年度		27年度		28年度		最終	
(2) 年間トー	事業費・指標の計 財 国庫支比 事源 地方信	生移 出金 金 責	千円 千円 千円 千円	(決算·実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	→ イ: 26年度 (次年度計画・E	標)	27年度 (計画・目標)		28年度		最終	
(2) 年間トータ	事業費・指標の計 財 国庫支 県支出 事業内 での付 一般財	生移 出金 責 也 源	千円 千円 千円 千円				→ イ: 26年度 (次年度計画・E		27年度		28年度		最終	
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の計 事業費・指標の計 事業費 表での付 事業費計 人 正規職員従事	作移金 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	千円 千円 千円 千円 千円 千円 人	(決算·実績) 610	(決算見込·実績) 600 600 1	(予算·目標) 570	→ イ: 26年度 (次年度計画・E	1標)	27年度 (計画·目標) 400		28年度		最終	スト・目標
(2) 年間トータルココ	事業費・指標の計 事業費・指標の計 期源 国庫支出 選集支出 その付 一般財 事業費計 人 正規職員従事時 件件	能移 金 責 心 源 (A) 人 数 間	千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 7 8 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 <th>(決算·実績) 610 610 1 2</th> <th>(決算見込·実績) 600 600 1 2</th> <th>(予算·目標) 570 570 1 2</th> <th>→ イ: 26年度 (次年度計画・E</th> <th>000 000 1 2</th> <th>27年度 (計画·目標) 400 400 1</th> <th>0)</th> <th>28年度</th> <th>0</th> <th>最終</th> <th>スト・目標 0</th>	(決算·実績) 610 610 1 2	(決算見込·実績) 600 600 1 2	(予算·目標) 570 570 1 2	→ イ: 26年度 (次年度計画・E	000 000 1 2	27年度 (計画·目標) 400 400 1	0)	28年度	0	最終	スト・目標 0
(2) 年間トータルココ	事業費・指標の計 事業費・指標の計 事業費 一般財 事業費計 人工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	能移 金 責 心 源 (A) 人 数 間	千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績) 610 610 1 2 8	(決算見込·実績) 600 600 1 2 8	(予算·目標) 570 570 1 2 8	→ [イ] 26年度 (次年度計画・E	000 000 1 2 8	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8)	28年度	0	最終	スト・目標
(2) 年間トータルココ	事業費・指標の計 事業費・指標の計 期源 国庫支出 選集支出 その付 一般財 事業費計 人 正規職員従事時 件件	性移 出金 うし 説 (A) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	千円千円千円千円千円千円時間	(決算·実績) 610 610 1 2	(決算見込·実績) 600 600 1 2 8 608	(予算·目標) 570 570 1 2 8 578	7 イ: 26年度 (次年度計画・E	000 000 1 2	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8 408	0)	28年度 (計画·目標	0	最終	スト・目標 0
(2) 年間トータルココ	事業費・指標の計 事業費・指標の計 事業費 一般財 事業費計 人工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	能移出金 ・ 適 ・ 適 ・ (A) ・ (A) ・ (B)	千円 千円 千円 千円 千八 時 千 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績) 610 610 1 2 8 618	(決算見込·実績) 600 600 1 2 8	(予算·目標) 570 570 1 2 8	7 イ: 26年度 (次年度計画・E	のの 000 000 1 2 8 008	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8	0)	28年度 (計画·目標	0 0	最終	スト・目標
(2) 年間トータルココ	事業費・指標の計 事業費・指標の計 期源 国庫支出 選集支出 一般財 事業費計 人 正規職員後等時費 人 体費計 (A)+(B)	能 (A) (A) (B)	千円円円十千千人時十十日	(決算·実績) 610 610 610 2 8 618	(決算見込·実績) 600 600 1 2 8 608	(予算・目標) 570 570 570 1 2 8 578	→ [イ] 26年度 (次年度計画・E 5 5 5	000 000 000 1 2 8 008	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8 408	2 3 3 3 0 0	28年度(計画・目標	0 0 0 0.0	最終	スト・目標
(2) 年間トータルココ	事業費・指標の計 事業費 財源の対理を表している。 事業費 人件費計 (A)+(B)	能移 出金 養 し源 (A) (A) (B)	千円 千円 千円 千円 千八 時 千 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績) 610 610 1 2 8 618	(決算見込·実績) 600 600 1 2 8 608	(予算·目標) 570 570 1 2 8 578	→ [イ] 26年度 (次年度計画・E 5 5 5	のの 000 000 1 2 8 008	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8 408	2 3 3 3 0 0	28年度(計画・目標	0 0	最終	スト・目標
(2) 年間トータルココ	事業費・指標の計 事業費・指標の計 期源 国庫支出 選集支出 一般財 事業費計 人 正規職員後等時費 人 体費計 (A)+(B)	能移 出金 養 し源 (A) (A) (B)	千円円円十千千人時十十日	(決算·実績) 610 610 610 2 8 618	(決算見込·実績) 600 600 1 2 8 608	(予算・目標) 570 570 570 1 2 8 578	→ [イ] 26年度 (次年度計画・E 5 5 5	000 000 000 1 2 8 008	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8 408	2 3 3 3 0 0	28年度(計画・目標	0 0 0 0.0	最終	スト・目標
(2) 年間トータルココ	事業費・指標の計 事業費 財源の対理を表している。 事業費 人件費計 (A)+(B)	(人間)アイウアイウア	千円円円十千千人時十十日	(決算·実績) 610 610 610 2 8 618	(決算見込·実績) 600 600 1 2 8 608	(予算・目標) 570 570 570 1 2 8 578	→ イ: 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	000 000 000 1 2 8 008	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8 408	2 3 3 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28年度(計画・目標	0 0 0 0.0	最終	スト・目標
(2) 年間トータルココ	事業費・指標の計 事業費 財源の対理を表している。 事業費 人件費計 (A)+(B)	(人間)アイウアイウア	千円 千千 十 一 一 人	(決算·実績) 610 610 1 2 8 618 1.0	(決算見込·実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0	(予算·目標) 570 570 1 2 8 578 1.0	→ イ: 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8 408 1.	2 3 3 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28年度(計画・目標	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	最終	スト・目標
(2) 年間トータルココ	事業費・指標の対 事業費 財源内訳 国庫支比 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一級	(A)(B)アイウアイウアイウアイウ	千千 千 八 間 千 千 円 回 一 一 回	(決算·実績) 610 610 1 2 8 618 1.0	(決算見込·実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0	(予算·目標) 570 570 1 2 8 578 1.0	→ イ: 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8 408 1.	2 3 3 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28年度(計画・目標	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	最終	スト・目標
(2) 年間トータルココ	事業費・指標の対 事業費 財源内訳 国庫支比 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一級	(人間)アイウアイウア	千円 千千 十 一 一 人	(決算·実績) 610 610 1 2 8 618 1.0	(決算見込·実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0	(予算·目標) 570 570 1 2 8 578 1.0	→ イ: 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8 408 1.	2 3 3 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28年度(計画・目標	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	最終	スト・目標
(2) 年間トータルコスト	事業費・指標の計 事業費 財源内訳 事業職 (A)+(B) 活動指標 対象指標 は成果指標	移金き責也源(A)アイウアイウアイ	千円 千円 千八 時 千八 時 千 千 日 回 一 人	(決算·実績) 610 610 1 2 8 618 1.0	(決算見込·実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0	(予算・目標) 570 570 1. 2 8 578 1.0 590.0	→ イ: 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8 408 1.	2 3 3 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28年度(計画・目標	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	最終	スト・目標
(2) 年間トータルコスト (3)ご	事業費・指標の計算を担当を担当を担当を担当を担当を担当を担当を担当を担当を担当を担当を担当を担当を	(4) お金(5) お金(6) お金(7) ボークアイ・ウアイ・ウアイ・ウアイ・ウァイ・タックス・イン・アイ・ウァイ・ウァイ・ウァイ・クァイ・ウァイ・ウァイ・ウァイ・ウァイ・ウァイ・ウァイ・ウァイ・ウァイ・ウァイ・ウ	千円 千円 千八 時 千八 回 % 状況((決算・実績) 610 610 1. 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状況章で開始されたの	(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0	(予算・目標) 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0	→ [イ] 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	00 00 00 1 2 8 08 1.0	27年度 (計画·目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590.	2 3 3 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28年度(計画・目標	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	最終(トータルコン	0 0
(2) 年間トータルコスト (3) (3) (3) (1)	事業費・指標の計算を指標の計算を表現して、	(人間)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)<th>千千八門 千千八門 千千八門 千千八門 千千八門 千千八門 千千八門 千千八回 人 切り</th><th>(決算・実績) 610 610 1 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状況</th><th>(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 2等)の変化、市員合併前の旧町村に引き続き交付してい</th><th>(予算・目標) 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 2意見等 あった障害者福祉いる。</th><th>7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7</th><th>000 000 1 2 8 008 1.0 0.0</th><th> 27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590.</th><th>00000000000000000000000000000000000000</th><th>28年度(計画・目標</th><th>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th><th>最終(トータルコン</th><th>0 0</th>	千千八門 千千八門 千千八門 千千八門 千千八門 千千八門 千千八門 千千八回 人 切り	(決算・実績) 610 610 1 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状況	(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 2等)の変化、市員合併前の旧町村に引き続き交付してい	(予算・目標) 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 2 意見等 あった障害者福祉いる。	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	000 000 1 2 8 008 1.0 0.0	27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590.	00000000000000000000000000000000000000	28年度(計画・目標	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	最終(トータルコン	0 0
(2) 年間トータルコスト (3) (3) (1)	事業費・指標の計画集 支	(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)<th>千千千八時千千回 人 回 % (状況(経経)) (な経経) (な経経) (な経経) (な経経) (な経経) (な に は い か に か に か に か に か に か に か に か に か に か</th><th>(決算・実績) 610 610 1. 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状況 で開始されたの または5年前と比</th><th>(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 2等)の変化、市員合併前の旧町村に引き続き交付してい</th><th>(予算・目標) 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 2意見等 あった障害者福祉いる。</th><th>7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7</th><th>000 000 1 2 8 008 1.0 0.0</th><th> 27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590.</th><th>00000000000000000000000000000000000000</th><th>28年度(計画・目標</th><th>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th><th>最終(トータルコン</th><th>0 0</th>	千千千八時千千回 人 回 % (状況(経経)) (な経経) (な経経) (な経経) (な経経) (な経経) (な に は い か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	(決算・実績) 610 610 1. 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状況 で開始されたの または5年前と比	(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 2等)の変化、市員合併前の旧町村に引き続き交付してい	(予算・目標) 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 2 意見等 あった障害者福祉いる。	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	000 000 1 2 8 008 1.0 0.0	27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590.	00000000000000000000000000000000000000	28年度(計画・目標	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	最終(トータルコン	0 0
(2) 年間トータルコスト (3) (3) (3) (3) (3) (2) (3) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	事業費・指標の計事業費 財源内訳 事業職 で 大田 東支 方の を 一般計 事業職 で 大田 正規 で の 事業職 で 代 (A) + (B) 活動指標 対象 指標 は 成	# 出金漬	千千千人間 千千一回 人 以(経験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(決算・実績) 610 610 610 1 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状汚章で開始されたの iまたは5年前と比 多の予測は?	(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 2 特)の変化、市民合併前の旧町村に引き続き交付している合併したことにより	(予算・目標) 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 13.0 2 意見等 ためった障害者福祉いる。	マイ: 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 1 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	00 00 00 1 2 8 08 1.0 0.0 3.0	27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590.	00000000000000000000000000000000000000	28年度(計画・目標		最終(トータルコン	スト・目標 0 0 0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3)に ②	事業費・指標の計事業費 財源内訳 事業職 で 大田 東支 方の を 一般計 事業職 で 大田 正規 で の 事業職 で 代 (A) + (B) 活動指標 対象 指標 は 成	(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)(人間)<th>千千千人時千千回人の場合のでは、大なない。大なない。大なない。大なない。大なない。大なない。大なない。大なない</th><th>(決算・実績) 610 610 1 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状況章で開始されたの または5年前と比 後の予測は?</th><th>(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 2 特)の変化、市民合併前の旧町村に引き続き交付している合併したことにより</th><th>(予算・目標) 570 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 2 意見等 あった障害者福祉いる。 会員数は増えたが、</th><th>マイ 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 1 会を統合し、市 事業への参加</th><th>00 00 00 1 2 8 08 1.0 0.0 3.0</th><th>27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590.</th><th>00000000000000000000000000000000000000</th><th>28年度(計画・目標</th><th></th><th>最終(トータルコン</th><th>スト・目標 0 0 0 0 0</th>	千千千人時千千回人の場合のでは、大なない。大なない。大なない。大なない。大なない。大なない。大なない。大なない	(決算・実績) 610 610 1 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状況章で開始されたの または5年前と比 後の予測は?	(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 2 特)の変化、市民合併前の旧町村に引き続き交付している合併したことにより	(予算・目標) 570 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 2 意見等 あった障害者福祉いる。 会員数は増えたが、	マイ 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 1 会を統合し、市 事業への参加	00 00 00 1 2 8 08 1.0 0.0 3.0	27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590.	00000000000000000000000000000000000000	28年度(計画・目標		最終(トータルコン	スト・目標 0 0 0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3)ご (3)ご (4)	事業費・指標の計算を出版の計算を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	(大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	千千千十人時千千回 人 四 % (状況経経)	(決算・実績) 610 610 1 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状況章で開始されたの または5年前と比 後の予測は?	(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 13.0 4等)の変化、市員合併前の旧町村に引き続き交付してい合併したことにより。	(予算・目標) 570 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 2 意見等 あった障害者福祉いる。 会員数は増えたが、	マイ 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 1 会を統合し、市 事業への参加	00 00 00 1 2 8 08 1.0 0.0 3.0	27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590.	00000000000000000000000000000000000000	28年度(計画・目標		最終(トータルコン	スト・目標 0 0 0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3)ご (3)ご (4)	事業費・指標の計算を出版である。 事業費	(大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	千千千十人時千千回 人 四 % (状況経経)	(決算・実績) 610 610 1 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状況章で開始されたの または5年前と比 後の予測は?	(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 13.0 14.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15	(予算・目標) 570 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 590.0 13.0 13.0 よ意見等 あった障害者福祉いる。 会員数は増えたが、 が、新規会員の確	→ イ 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 1 会を統合し、市 事業への参加 ので、事業活動 呆ができない。	標 000 000 1 2 8 08 1.0 1.0	27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590. 13.	0 0 0 0 (大情報	28年度(計画・目標)		最終(トータルコン	スト・目標 0 0 0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3)に ① (4) ① (4)	事業費・指標の計算を出版の計算を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	(人) 間(B)(大) が関・組み(大) が関・組み(大) が関・組み(大) が関・組み(大) が関・組み(大) が関・組み(大) が関・組み(大) が関・組み(大) が関・組み	千千千人間 日	(決算・実績) 610 610 610 1 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状況 で開始されたの または5年前と比 をの予測は? 事業対象者、議会 5れているか?	(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 13.0 14.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15	(予算・目標) 570 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 590.0 13.0 よ意見等 あった障害者福祉いる。 会員数は増えたが、 が、新規会員の確 している ⇒【内	マイ 7 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	標) 1標) 00 00 00 1 2 8 08 1.0 1	27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590. 13.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28年度(計画・目標)	0 0 0 0 0.0 0.0	最終 (トータルコン) いても合併 政機関か	スト・目標 0 0 0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) (3) (4) (1) (2)	事業費・指標の計算を対して、	能 出金漬也源(A人間B) アイウアイウアイ ちど にま者望 状施 取	千千千人時千千回 人 別はた。市客況は、 別は、 別は、 別は、 別は、 別は、 別は、 別は、 別は、 別は、 別	(決算・実績) 610 610 1 2 8 618 1.0 590.0 13.0 対象者・社会状 章で開始されたの 非または5年前と比 炎の予測は? 事業対象者、議会 られているか?	(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 13.0 14.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15	(予算・目標) 570 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 590.0 13.0 よ意見等 あった障害者福祉いる。 会員数は増えたが、 が、新規会員の確 している ⇒【内	マイ 7 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	標) 1標) 00 00 00 1 2 8 08 1.0 1	27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590. 13.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28年度(計画・目標)	0 0 0 0 0.0 0.0	最終 (トータルコン) いても合併 政機関か	スト・目標 0 0 0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) (3) (4) (1) (2) (3) (4) (1) (2) (3) (4) (1) (2) (3) (4) (1) (2) (3) (4) (1) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	事業費・指標の計算を	(よ) は (は) は) は (は) は (は)	千千千千八時千千回	(決算・実績) 610 610 610 1 2 8 618 1.0 590.0 13.0 13.0 対象者・社会状 章で開始されたの または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会 られているか?	(決算見込・実績) 600 600 1 2 8 608 1.0 590.0 13.0 13.0 14.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 15	(予算・目標) 570 570 570 1 2 8 578 1.0 590.0 13.0 590.0 13.0 は 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	マイ 7 26年度 (次年度計画・E 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	標) 1標) 00 00 00 1 2 8 08 1.0 1	27年度 (計画・目標) 400 400 1 2 8 408 1. 590. 13.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28年度(計画・目標)	0 0 0 0 0.0 0.0	最終 (トータルコン) いても合併 政機関か	スト・目標 0 0 0 0 0

	事務事業名	障害者福祉会活	動支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	福祉課		
目	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の 施策に結びつき、貢献しているか?意図 が上位目的に結びついているか? ②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行	事後評価 (複数年度事業は途中評価) □ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☑ 結びついている ⇒【理由↓】 □ 結びついている ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☑ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☑ 妥当である ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☑ 要当である ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映							
性評価	民間やNPO、市民協働に移行することは可能か? ③ 維持・継続の妥当性現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か?目的や事業の必要性を見直す余地はあるか?	☑ 見直し余地が ☑ 適切である 対象である障害者	⇒【理由↓】 新手帳保持者のうち障害者 ら、自主運営に向けて目的	⇒ 3評価(Cr f福祉会への入会者 で事業の必要性に	neck2)・4 今後の方 fは20%程度と低いこと				
有効性評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させる ことはできるか?できない場合は何が原 因でできないのか?								
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあ るか?類似事務事業がある場合、その 事務事業との統合や連携を図ることはで きるか?	ー							
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響 はあるか?また成果から考えて、休止・ 廃止することはできるか?	✓ 影響なし厂 影響あり =	【理由と影響の内容↓ 運営が厳しくなる。]	▼ 休止・廃止ができる □ 休止・廃止できない	、 ⇒【 理由↓】			
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)								
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できない か?(事業のやり方の見直しによる業務 時間の削減や臨時職員対応や外部委託 による削減はできるか?)				3評価(Check2)・ 4 り余地はない。	4今後の方向性	に反映		
	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか?受益者負担を見直す必要	□ 公平・公正で			3評価(Check2)・4 て障害者福祉会の会員				
	③ 効率性 ☑ 適切 □ 見直	(2 し余地あり ^障 る	果と総括 2) 1次評価の総括(事系 書者手帳所持者のうち障 が、障害者の連携や社会 に自主運営可能となるよう	害者福祉会への入 参加につながってレ	会数は20%程度と低い	いなど、目的妥当 [生・公平性に欠けてい		
	今後の方向性(事務事業担当認) 今後の事務事業の方向性(Check		h.a. 複数選択可		[(3)	改革・改善によ	る方向性		
	・ 一	□ 事業統合 □ 成果向上	・連携(有効性⑤の結果) (有効性④の結果)	☑ 公平性改善(公 ¹ □ 現状維持(全評f	平性⑨の結果)	成果水準	スト水準 維持 増加 □ □		

※ 廃止・休止の場合は記入小安 (5)事務事業優先度評価結果 (4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①補助金の段階的削減を行う。 ②広報や社協だよりなどへ入会の案内を掲載し、広報に努めるよう指導する。 ③ 成果優先度評価結果 12 コスト削減優先度評価結果 6